導入事例 - 劇場 | ノヴェチェント

テアトロ・ミランの劇場でノヴェチェントの世界を表現

メキシコシティのテアトロ・ミランで2019年8月から12月にかけて上演された演劇「ノヴェチェント」では、エレガントでシンプルなセットと、物語が展開していくにつれて主演俳優のベニー・イバラ氏に焦点を集めていく照明デザインが印象的でした。260席の劇場、テアトロ・ミランにはサウンドシステムが備え付けられていたものの、この演劇には、イバラ氏に創造的な柔軟性と動きをもたらす、革新的で、柔軟なサウンドデザインを必要としていました。

また、シンガー、作曲家、そして音楽プロデューサーとしても活躍するイバラ氏は、オーディオ技術に対する情熱と知識を持ち、観客に比類ないオーディオ体験を提供することの重要性を理解していました。「映画のおかげで、現代の観客はよく肥えた耳を持っており、音や台詞がクリアに聞こえることが当然と考えています。公演を制作する側である我々はテクノロジーを学び、観客はより良い音質を求め続ける。これが、劇場のオーディオが進化し続けるための唯一の方法なのです」

サウンドを使って臨場感あふれるラジオシアターの現代の解釈を表現

大陸横断クルーズ船で生まれ、船上で生涯を過ごす非凡なピアニストについてのこの物語では、観客を劇中に引き込むための演出が特に重要となりました。監督のマウリシオ・ガルシア・ロザノ氏とイバラ氏は、現実のように周囲のあらゆる方向からサウンドが聞こえ、観客が引き込まれるような演出をするため、演劇に最適なサウンドを取り入れる方法について議論しました。2人は、物語を伝えるための仕掛けとしてオーディオを使い、見えなくてもサウンドで観客の想像を促す方法について、さまざまなアイデアを探求しました。

目標は、大勢の人が防波堤を動き回るリアルな音や、嵐の音など、20世紀前半に人気を博したラジオシアターの現代の解釈を表現することでした。これを実現するためには、最高の音質を提供する一方で、柔軟で、指向性をカスタマイズでき、複雑な音声トラックのミックスに対応できるソリューションが必要であることが分かりました。

柔軟で、ポータブルかつパワフルなオーディオソリューションが、観客をノヴェチェントの世界へと誘う

オーディオソリューションは、ロザノ氏とイバラ氏の指定したすべての機能を備えている一方で、持ち運びも簡単である必要がありました。両氏は、Bose S1 Pro Multi-Position PA system、F1 Model 812 Flexible Array loudspeaker、F1 subwooferの組み合わせが最適であると結論付けました。

ノヴェチェントのサウンドコンセプトを演出するため、それぞれのシーンのためのサウンドシーケンスが作成されました。これには、オーディオライブラリの中から年代に適合したサウンドを探したり、ロザノ氏とイバラ氏によって演劇のために特別に制作された効果音や音楽をレコーディングしたりする必要がありました。さらにチームは、ミュージシャンでありプロデューサーであるヴィコ・グティエレス氏を招

き、各シーンのサウンドシーケンスのレイアウトのサポートを依頼しました。また、オリジナルスコアの演奏は、ドラマーのペペ・ダミアン氏が率いるグループ、Atlantic Jazz Bandが担当しました。

サウンドプロダクションでは、劇中を通して8つの音声チャンネルをアクティブにし、一部のシーンで最大48チャンネルの音声トラックを同時に重ねることで独特の雰囲気を演出します。このような臨場感あふれるサウンド体験は、均一なオーディオカバレージと卓越した明瞭さを実現するボーズのポータブルPAシステムの独自のテクノロジーによって可能となり、同じ聴覚体験を観客に毎公演一貫して提供することができました。

劇場のカバレージパターンは、3つのセクションに分割されました。フロントセクションでは、2台のF1 Model 812 flexible array loudspeakerをステージ両側に使用し、F1 subwooferをそれぞれ1台ずつ組み合わせており、中央の上部には3台目のF1 Model 812を吊り下げて設置しました。このセクションのカバレージは、4台のS1 Pro portable loudspeakerのサウンドで補強されています。このうちの2台は観客席の上の天井に設置されました。バックセクションと中二階席には、さらに8台のS1 Pro loudspeakerが戦略的に配置されました。これらのスピーカーはワイヤレスで使用され、S1 Pro loudspeakerの外部入力ジャックに接続されたインイヤーモニター受信機を通じて信号を受信しています。

劇場音声の力として語り継がれる臨場感あふれる体験

S1 ProシステムとF1システムの組み合わせで構築されたボーズのソリューションにより、ロザノ氏とイバラ氏は観客に毎晩臨場感あふれる体験を演出することができました。このカスタマイズされたオーディオシステムの操作は、劇場と音楽公演のツアーでイバラ氏のオーディオエンジニアを務める、サンティアゴ・アルバレズ氏に委ねられました。同氏は、公演の成功に不可欠な、ポータブルで柔軟な高品質サウンドを提供する、システムの8チャンネルのすべてのシーケンスとサウンドのプログラムも担当しました。

「プロセス全体がとても楽しいものでした。目を閉じていても、耳で聞いて周囲で起こることを体験する。それによって物語を伝える方法を、まるで子供のようになって想像していました」

— ベニー・イバラ氏

シンガー、作曲家、音楽プロデューサー

「Bose S1 Proは、汎用性に優れ、パワフルで、幅広い水平カバレージパターンを持っているため、重要な要素となりました。さらに、バッテリー駆動のため、電源ケーブルが不要で、セットアップにも手間がかかりませんでした」

F1 Model 812

Bose F1 Model 812は、あらゆるカバレージのニーズに対応する、パワフルで比類ないサウンドを提供。ボーズのフレキシブルアレイテクノロジーを採用し、8つの高出力ドライバーのアレイ後方に12インチウーファーを搭載した、1000Wフルレンジスピーカー。9つのスピーカーを従来のスピーカーよりも低いクロスオーバーポイントに設定することで、フルボイスのサウンドを実現。大音量でもクリアで自然なボーカルと明瞭なミッドレンジを提供します。

システムのコンポーネント

- **S1 Proシステム**マルチポジションPAシステムスピーカー
- **F1 Model 812**フレキシブルアレイスピーカー
- **F1サブウーファー**

S1 Proシステム

ミュージシャン、DJのためのスピーカーとしてはもちろん、PA機材としても設計されたS1 Proは、フロアモニターやアンプ、メインミュージックシステムとしても使える究極のオールインワンPAシステムです。マルチポジション構造とAuto EQ機能がいつでも最高のサウンドを生み出します。3チャンネルのミキサー、リバーブ、*Bluetooth*® ストリーミング、ToneMatch® プロセッシングを搭載し、どこにでも持ち運べるPAとして、すぐに使い始めることができます。

Bose Professionalは、劇場、芸術センター、礼拝施設、競技場、飲食店、学校、小売店舗、宿泊施設やオフィスビルなど、世界中の様々な市場に高品質なサウンドを提供しています。

プロオーディオ業界のお客様にとって、アンプやスピーカーが単なる製品以上のものであることを、私たちは知っています。私たちボーズ製品の先には、お客様のビジネスがあり、お客様の評判があり、暮らしがある。Bose Professionalの製品を購入するということは、世界中のBose Professionalチームによる手厚いサポートを得るということと同意義です。ボーズは、製品の購入は、パートナーシップの始まりだと考えています。

BOSE PROFESSIONAL

PRO.BOSE.COM

© 2020 Bose Corporation. S1 ProおよびF1は、Bose Corporationの商標です。2020年11月